

1 総合計画における施策方針（抜粋）

- (1) 商業・観光
しんまち地区の活性化と地域資源を活かした魅力づくり
- (2) 観光・地域振興
「スイーツのまち=とみや」としてのシティブランドの確立

2 現状

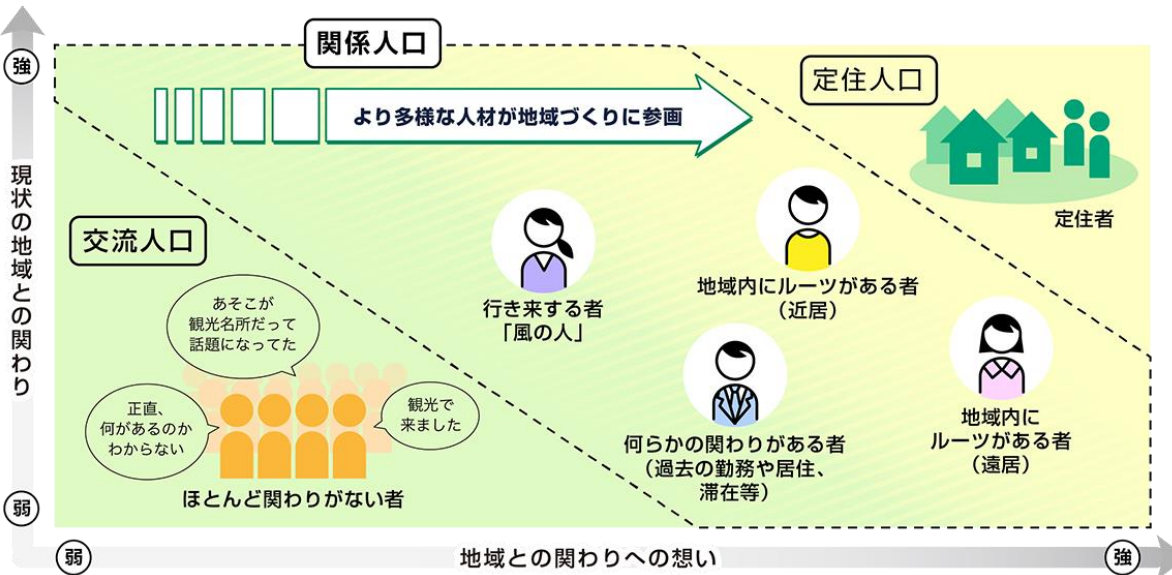
- (1) 住みこちランキング2021（大東建託）
宮城県第1位（3年連続）、東北第1位（2年連続）
- (2) 住みよさランキング2021（東洋経済）
宮城県第1位（2年連続）、東北・北海道第2位、全国45位

「観光分野」では低い評価…
(県内28位/35位中)

3 目指すゴール

交流人口16万人（令和7年度）

→ とみやらしい観光交流によって、関係人口へ・・・そして定住人口へ・・・



※総務省HP 関係人口ポータルサイトより

4 とみやらしい観光とは・・・「考えられる主な視点」

- (1) 地域資源の発掘と活用
・ヒト（市民プレーヤー）、モノ（とみやど商品など）、コト（コンテンツ、ツーリズムなど）
- (2) ポストコロナへの対応
・デジタル化（非接触・オンライン等） ※2025年には「5G」が中心となる
・観光客の行動変容（集団から個人へ） ※マイクロツーリズム
- (3) 地域商社の効果的な活用
・民間視点でのマーケティング、ブランディング、アイデアによる地域全体の高付加価値化
・事業企画力、巻き込み力、売り込み力の向上

5 とみやなどを拠点とした商品開発

上記の視点を踏まえ、めざすビジョン実現のための「きっかけ」として

- ・「とみやど」で売る商品（モノ）
- ・「とみやど」を拠点とした商品（コト）

の開発に向けたアイデアをお待ちしています

※とみやに人の流れをつくるための商品を・・・